

ピープルアナリティクスの最前線

～自社で人事データ分析を最適に進めるために～

株式会社ビジネスリサーチラボ 代表取締役 伊達 洋駆

CONTENTS

はじめに：本稿を読むことで何が分かるか

Q1：そもそもピープルアナリティクスとは何ですか？

Q2：なぜピープルアナリティクスに注目が集まっているのですか？

Q3：ピープルアナリティクスはどのような場面で活かせますか？

Q4：データ収集前にやるべきことは何ですか？

Q5：ピープルアナリティクスにおいて何がデータになりますか？

Q6：どのようなデータが分析しやすいですか？

Q7：データをどのように分析すればよいですか？

Q8：社内に分析できる人がいない場合にどうすればよいですか？

Q9：ピープルアナリティクスに必要なのはどのような人材ですか？

Q10：ピープルアナリティクスで成果を出すにはどうすればよいですか？

Q11：分析結果で人を動かすにはどうすればよいですか？

Q12：分析結果を対策につなげるには何が必要ですか？

Q13：経営層や現場との連携にあたって何に注意すればよいですか？

Q14：ピープルアナリティクスで簡単に取り組みそうなことは何ですか？

■伊達 洋駆（だて ようく） 株式会社ビジネスリサーチラボ 代表取締役

神戸大学大学院経営学研究科 博士前期課程修了。修士(経営学)。2009年にLLPビジネスリサーチラボ、2011年に株式会社ビジネスリサーチラボを創業。以降、組織・人事領域を中心に、民間企業を対象にした調査・コンサルティング事業を展開。

主な著書に『「最高の人材」が入社する採用の絶対ルール』（共著、ナツメ社）、『組織論と行動科学から見た 人と組織のマネジメントバイアス』（共著、ソシム）、『オンライン採用 新時代と自社にフィットした人材の求め方』（日本能率協会マネジメントセンター）、『人材マネジメント用語図鑑』（共著、ソシム）など。

